

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 国際収支(2018年3月)

発表日: 2018年5月10日(木)

～春節の影響が剥落したことから、経常収支は水準を戻した～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 小池 理人

TEL : 03-5221-4573

| | 原数値 経常収支 (億円) | 季調値 経常収支 (億円) | 貿易・サービス収支 | | | | 第一次所得収支 | |
|------|---------------------|---------------------|-----------|--------|---------|---------|---------|--------|
| | | | 貿易収支 | サービス収支 | | | | |
| | | | | 貿易収支 | サービス収支 | | | |
| 2017 | 4月 | 19,804 | 18,495 | 3,579 | 2,893 | 685 | 16,298 | |
| | 5月 | 16,932 | 15,896 | 1,586 | 3,205 | ▲ 1,620 | 15,973 | |
| | 6月 | 9,252 | 15,544 | 1,453 | 2,092 | ▲ 638 | 15,982 | |
| | 7月 | 23,471 | 18,649 | 4,062 | 5,136 | ▲ 1,074 | 16,469 | |
| | 8月 | 24,007 | 21,030 | 5,146 | 5,749 | ▲ 603 | 17,979 | |
| | 9月 | 22,583 | 18,377 | 3,993 | 4,898 | ▲ 905 | 16,367 | |
| | 10月 | 21,885 | 22,961 | 7,286 | 5,352 | 1,934 | 17,467 | |
| | 11月 | 13,407 | 18,652 | 4,036 | 4,824 | ▲ 788 | 16,605 | |
| | 12月 | 7,965 | 17,335 | 2,545 | 2,730 | ▲ 185 | 17,063 | |
| | 2018 | 1月 | 6,074 | 18,756 | 4,291 | 5,187 | ▲ 896 | 15,965 |
| | | 2月 | 20,760 | 9,631 | ▲ 3,181 | ▲ 2,914 | ▲ 267 | 14,717 |
| | | 3月 | 31,223 | 17,723 | 3,278 | 4,896 | ▲ 1,618 | 16,091 |

(出所) 財務省「国際収支統計」

○経常収支（季調値）は貿易収支を中心に春節前の水準に戻す

3月の経常収支（原数値）は31,223億円の黒字（コンセンサス:29,293億円の黒字、レンジ:19,097～34,123億円）とコンセンサスを上回る結果となった。季節調整値では17,723億円の黒字と先月から黒字幅を拡大し、2月の落ち込みが春節の影響による一時的なものであったことが示される形となった。

経常収支（季節調整値）の黒字幅拡大の主因は、貿易収支の黒字転化（2月:▲2,914億円→3月:+4,896億円）である。輸出が+0.8%と小幅増加した一方で、輸入が▲10.7%と大きく減少したことで貿易収支は黒字となった。ただし、今回の貿易収支の黒字転化は、春節の影響が2月の輸出金額の押し下げと輸入金額の押し上げに作用したことによる一過性の事象からの戻りであることに留意する必要がある。

共に発表された2017年度の経常収支は、リーマンショック後最大の水準である217,362億円の黒字となり、前年度から+7,174億円の黒字幅拡大となった。直接投資収益の黒字幅拡大による第一次所得収支の改善が、経常収支の黒字幅拡大の主因である。

○直接投資収益が大幅増加

2月の貿易外収支（季節調整値）をみると、第一次所得収支は16,091億円の黒字と前月から黒字幅が大きく拡大した。直接投資収益の黒字幅はやや縮小したものの、証券投資収益が大きく拡大（2月:+7,183億円→3月:+8,649億円）したことが影響した。

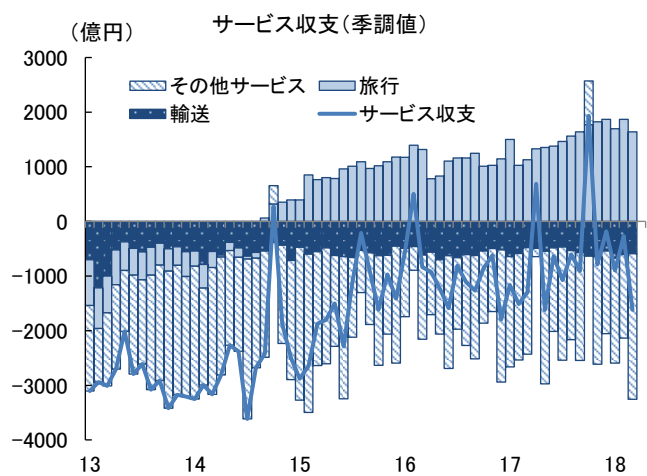
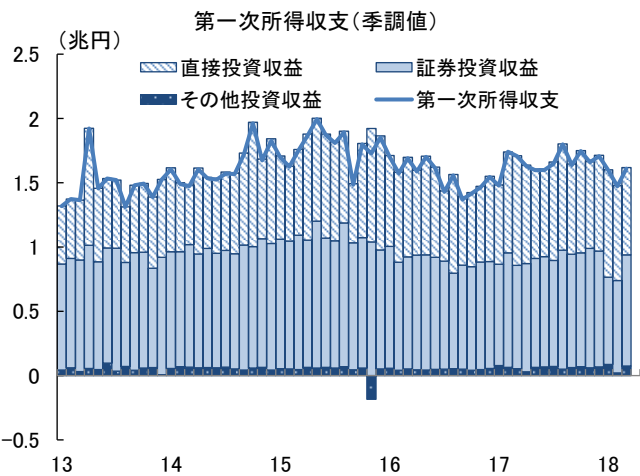
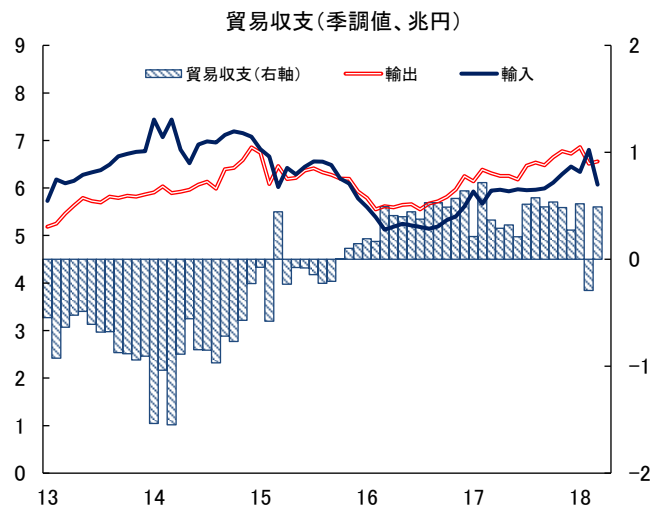
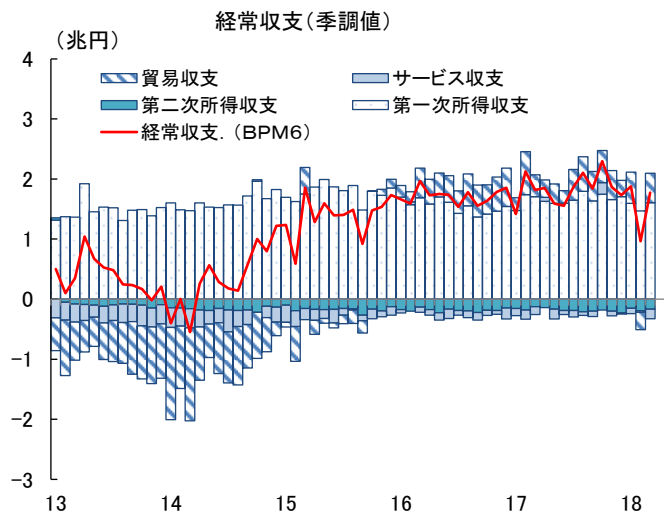
サービス収支は、▲1,618億円と前月から赤字幅が大きく拡大した。内訳をみると、輸送収支が横ばいに推移する中で、春節による訪日外国人増加の影響が剥落した旅行収支が黒字幅を縮小し、その他サービスが赤字

幅を拡大したことが、サービス収支の赤字幅拡大に寄与した。

○経常収支は引き続き高水準を維持する見込み

以上のように、3月の経常収支（季節調整値）は、貿易収支の黒字転化や第一次所得収支の黒字幅拡大を受けて、春節の影響で落ちこんだ前月の水準から戻す結果となった。

経常収支の先行きは、高水準での横ばい圏内で推移すると予想している。貿易収支について、輸出額は世界経済の好調さを受けて今後も増加傾向で推移することが見込まれる。ただし、原油価格が70ドル/バレルを越える水準まで上昇したことを受けて先行き輸入額の増加が予想されることから、貿易収支が一段と改善していく可能性は低いだらう。所得収支については、好調な世界経済や為替の円安方向への推移を受けて増加傾向で推移することが見込まれる。



(出所)財務省「国際収支統計」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。